

# 市民税・府民税 申告書の記載例（書き方） 年金収入があった場合

## 令和5年度分 市民税・府民税 申告書

(あて先)大阪市長 令和 5年 2月 16日提出

台帳番号	
※ 別紙	

来年度以降の申告書の送付が不要の場合は□に「✓」を記入

職業(業種)	勤務先または事業所名称(届号)

個人番号(マイナンバー)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 X X
--------------	-------------------------

フリガナ	オオサカ タロウ	生年月日	(1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 5.令和) 元号 年 月 日 3 25 1 1	日中の連絡先電話番号	自宅・携帯・その他( ) 06 -6208 -XXXX
氏名	大阪 太郎				

10	国民健康保険料	180,000
	介護保険料	180,000
	合計	360,000
12	新生命保険料の計	円
	旧生命保険料の計	円
12	新個人年金保険料の計	円
	旧個人年金保険料の計	円
	介護医療保険料の計	円
13	地震保険料の計	円
	旧長期損害保険料の計	円

提出日、現住所、1月1日現在の住所、氏名、生年月日等を記入してください。

14	寡婦・ひとり親控除	理由	1. 死別 2. 生死不明等 3. 離婚 4. 未婚
15	勤労学生控除	(学校名)	
16	障がい者控除区分	区分	1. 特別障がい者 2. 普通障がい者
17	配偶者特別控除等	配偶者氏名	生年月日
		オオサカ ハナコ	(1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成)
		大阪 花子	元号 年 月 日 3 25 2 1
			個人番号(マイナンバー) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 X X X
		同一生計配偶者に該当(控除対象配偶者を除く)	配偶者の合計所得金額(収入ではなく所得を記入) 500,000

収入金額等	利子	工賃	配当	給与	公的年金等	雑	総計
					2000000	900000	
							900000

源泉徴収票に記載されている収入金額等を記入してください。

申告の手引きや本市HP掲載の「公的年金等に係る雑所得金額の速算表」等にあてはめて計算した所得金額を記入してください。

16	16歳未満の扶養親族控除対象外	個人番号(マイナンバー)	元号 年 月 日	1. 同居 2. 別居	1. 特障 2. 普通
17	扶養控除額	合計	万円		
22	雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類	雑損金額
23	医療費控除	支払った医療費等	保険金などで補てんされる金額		

2	業 農 業	2	
3	不 動 産	3	
4	利 子	4	
5	配 当	5	
6	給 与	6	
7	雑	7	900000
8	総合譲渡・一時	8	
9	合 計	9	900000
10	社会保険料控除	10	360000
11	小規模企業共済等掛金控除	11	
12	生命保険料控除	12	
13	地震保険料控除	13	
14	寡婦・ひとり親控除	14	0000
15・16	勤労学生・障がい者控除	15・16	0000
17	配偶者控除	17	0000
18	配偶者特別控除	18	330000
19	扶養控除	19	0000
20	基礎控除	20	430000
21	10から20までの計	21	1120000
22	雑損控除	22	
23	医療費控除	23	
24	合 計	24	1120000

5 給与・公的年金等以外の所得(※)に係る市民税・府民税の納税方法  
 ※令和5年4月1日現在65歳未満の方は給与以外の所得  
 合算して給与から差し引き(特別徴収) → 2  
 別に自分で納付(普通徴収) → 1

2-6	所得金額調整控除に関する事項	フリガナ	生年月日	居住区分	障がい者区分
		氏 名	(1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 5.令和) 元号 年 月 日	1.同居 2.別居	1.特障
			個人番号(マイナンバー)		

障がい者	配障	本障	寡障	寡夫	勤労配	同配	扶養控除	未成年者	徴収区分	その他雑所得	発送区分
特内	他他	特特	特特	特特	夫夫	親親	特内	少少	他他		控交付

「申告の手引き」などをよく確認のうえ、表面・裏面ともに必要事項(選択項目は該当番号)を記入してください。証明書などに代えて使用することはできません。

台紙	付表	
窓口	郵送	オン